

# 風のたよれ

2011年11月20日 第108号

発行

日本共産党新潟市議会議員団

編集

新潟市議会議員 小山こつお  
(事務所) 0250-24-3840  
(議員団控室) 025-226-3450

## 平成22年度 ゴミ「有料化」の収支

**収入** 9億 188万 275円

- ◎指定袋.....847,032千円
- ◎粗大ごみ処理券.....54,848千円

**支出** 2億 4,345万 1,472円

- ◎指定袋等作製経費.....109,702千円
- ◎保管・配送委託経費.....43,697千円
- ◎販売委託経費.....90,053千円

**黒字** 6億 5,842万 8,803円

条田市政は平成20年6月から「有料化」を実施しました。平成22年度決算では、ゴミ「有料化」の収支は、6億5千万円もの黒字決算となりました。

# 新潟市は「営利企業」か?

## 12月議会日程(予定)

- 12月 1日(木) 本会議
- 7日(水) 本会議(一般質問)
- 8日(木) 本会議( )
- 9日(金) 本会議( )
- 12日(月) 本会議( )
- 13日(火) 各常任委員会
- 14日(水) ( )
- 15日(木) ( ) (諮問等)
- 16日(金) ( ) (採決)
- 19日(月) 各特別委員会
- 21日(水) 本会議

「ゴミ」有料化の平成22年度収支は左上の表です。市民からの億円を徴収し、支出は約5億5千万円。6億5千万円余の黒字決算です。市は「市民還元」していると言いますが、それでも使い切れず約5千万円を一般会計に入れていました。

「廃棄物処理法」では一般廃棄物の処理責任は市町村にあります。そのため必要の財源を市民は納税しています。住民の福祉の増進を図る、地方自治体である新潟市は、まうご利潤を求める「営利企業」のようです。

**入札制度 見直しへ**  
新潟市は、特定の企業に過度に発注が偏ることを防ぐために、入札制度の見直しを発表しました。すでに10月から実施されたものもありますが、12月からは、①総合評価方式の評価項目の中で、工事成績よりも地域貢献を重視した案件の入札②一般競争入札における一定の高額案件について、一定数の本市の高額工事を実施中の企業の参加を制限する入札が試行されます。  
地域経済の活性化に向け、入札制度改革をこれからは求めていきます。

サラ金、生活保護など、なんでもお気軽に

# くらしの相談会

なんでも

無料

とき 11月26日(土)  
午前10時~12時

ところ 小山こつお事務所  
(かえっくりニ、クななめ向い)  
TEL. 0250-24-3840